

「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 28 年 6 月 8 日

仕事の内容	桜が丘図書館の運営			
担当部署・課長名	中央図書館	課	桜が丘図書館	係 課長名 當摩 弘

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】

(総合計画書 35 ページ)

予算名	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 3 図書館費	事業 3 桜が丘図書館事業費
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	市民			市の人口(3月31日現在)
	→			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
利用者の読書意欲を刺激する			貸出冊数	
→				
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)	
ア. 新刊、リクエスト等があった本を購入した。			ア. 図書購入冊数	
イ. レファレンス			イ. レファレンス件数	
ウ. お話会			ウ. お話会開催回数	
エ. 図書展			エ. 図書展開催回数	

		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	85,382	86,092	86,044	
	成果指標	②の数値	冊	119,391	115,913	116,675	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
活動指標	③の数値	冊 件 回 回	ア. 2,713 イ. 2,452 ウ. 42 エ. 4	ア. 2,736 イ. 2,560 ウ. 42 エ. 4	ア. 2,499 イ. 2,645 ウ. 41 エ. 4		

3 経費	事業費		円	5,714,433	5,422,555	5,405,084	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円				
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	2.0	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	16,596,000	16,596,000	16,466,000		
職員人件費(再任用)		円					
事業費+人件費		円	22,310,433	22,018,555	21,871,084		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	平成5年7月 桜が丘図書館開館。市の南西部における図書館活動の拠点として事業を開始。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	桜が丘及び、近隣の立野地区に大規模マンション・住宅の建設が行われ人口が増加した。

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	無し
-------------	--	----

仕 事 の 内 容	桜が丘図書館の運営					
担当部署・課長名	中央図書館	課	桜が丘図書館	係	課長名	當摩 弘

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	取り組んだ	取組手法 ⑧ボランティアの方に、本の読み聞かせ・わらべ歌などをお願いした。 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。			
7 課題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する利用者のニーズに対応できるようにするため、職員の技術の向上を図る。 ・資料の収納スペースが少ない。 ・館内で閲覧する場所が少ない。(本を借りないで雑誌・新聞等を、閲覧する利用者が増えている。) 		
8 今後の方向性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用者の本のリクエストに応えつつ、新刊案内などに注意し情報把握に努める。 ・資料の更新を適宜実施する。 		
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。		
	①窓口(カウンター業務)やおはなし会等の催しでの利用者とのやり取りが大切である。そうしたやり取りの時間を大切にする。 ②展示コーナーを有効に使い、新着図書を含め本の紹介をしていく。 ③図書に関する専門的な知識の向上が重要であり、職場内研修を含め充実を図っていく。 ④閲覧する場所の拡大については、施設の改修等が必要であり、困難性がある。		
(3) 改革・改善案による期待成果			
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費は維持する。